


2011 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	教授
氏名	新井潤美 		
NAME	ARAI, MEGUMI		

1. 研究課題

(和文) イギリスの文学と文化における「パブリック・スクール」の果たす役割とイメージ

(英文) The Role and Image of the Public School in British Literature and Culture

2. 研究期間

2 年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

イギリスにおける「パブリック・スクール」の形成と変化について、「パブリック・スクール」の記録や学生の回顧録などの一次資料および二次資料を通して研究し、「パブリック・スクール」がアッパー・クラス、そして上昇志向のミドル・クラスの子弟の教育の場として確立するにつれて、パブリック・スクールを理想化し、美化した一連の「学校物語」が書かれていき、「リーダー育成」の場として、パブリック・スクールがエリート主義、そして帝国主義的思想をいかに正当化していったかを考察した。

さらに、パブリック・スクールにおけるホモセクシュアリティ、エスニック・マイノリティ、階級意識、教育、「教養」のコンセプトといった問題に目を向け、文学作品、演劇作品、映像作品、児童文学そして音楽や美術を題材として、現代のイギリスにおける「パブリック・スクール」のイメージの意味と重要性を分析した。

(英文) I have examined the birth and development of the public school in Britain, using both primary and secondary sources, have looked at how the image of the “public school boy” as the nation’s leader and Empire builder was established through the publication of school stories, and how the concept of the “public school ethos” came to be held up as an ideal for all classes. The research also covered such issues as sexuality, gender, class and racialism in relation to the public school, and has attempted to analyze the significance and continuing importance of the image and concept of the public school in British society today.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>-----</p> <p>新井潤美「学校もの」とハリー・ポッター」、日本イギリス児童文学学会東日本支部秋の例会講</p> <p>新井潤美「イギリス文化と学校教育」、川村英文学会 2012 年度大会（2012 年、9 月 29 日、東京）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <p>-----</p> <p>（共著）「バーバラ・ピムと『古き良き』イギリス」、中央大学人文科学研究所編『第二次世界大戦後のイギリス小説-ベケットからウィンターソンまで』（中央大学出版部、2012 年）、53-72 頁</p> <p>新井潤美 『イギリスの寄宿学校-トム・ブラウンからハリー・ポッターまで』、岩波書店（仮題、2014 年刊行予定）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>